

1

令和2年度 群馬県立太田高校 進路講演会(Web)



群馬県立太田高等学校 進路指導部 今井 輝夫

①令和2年度大学入試概況

②令和3年度大学入試について

③まとめ

①令和2年度大学入試概況

◆特徴

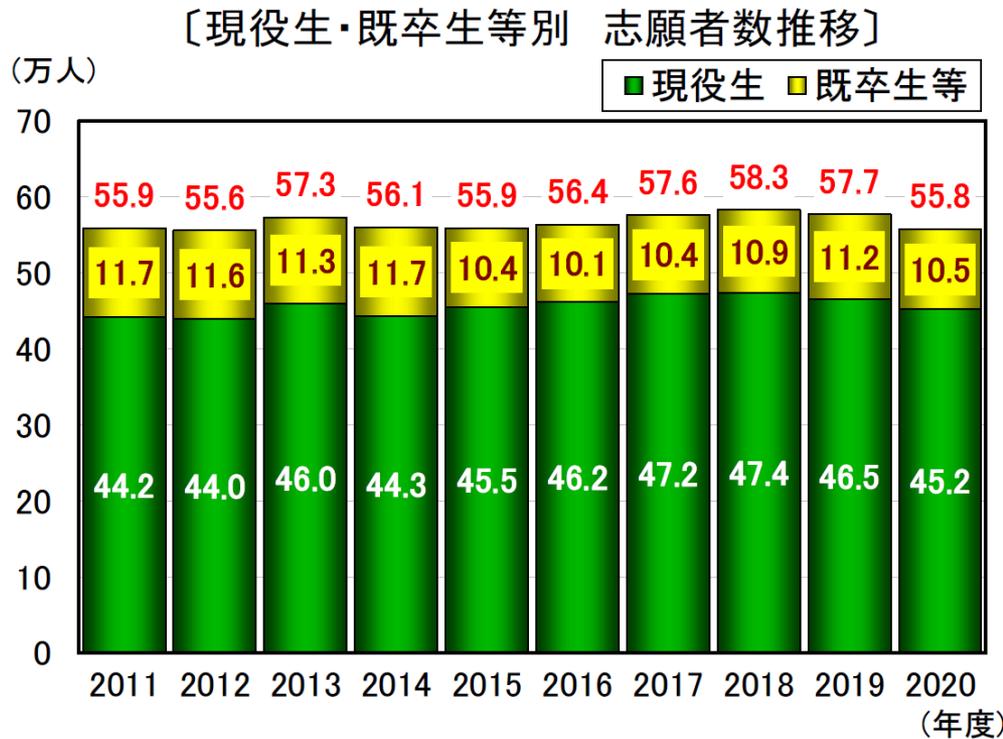
- ① 「超安全志向」の弱気出願
- ② 「国公立離れ」

◆理由

- ・「令和3年度入試」への不安
- ・「センター試験平均点」の大幅ダウン
- ・「早く進路を決めたい」、
「新型コロナウイルス感染拡大」による
受験の回避

①令和2年度大学入試概況

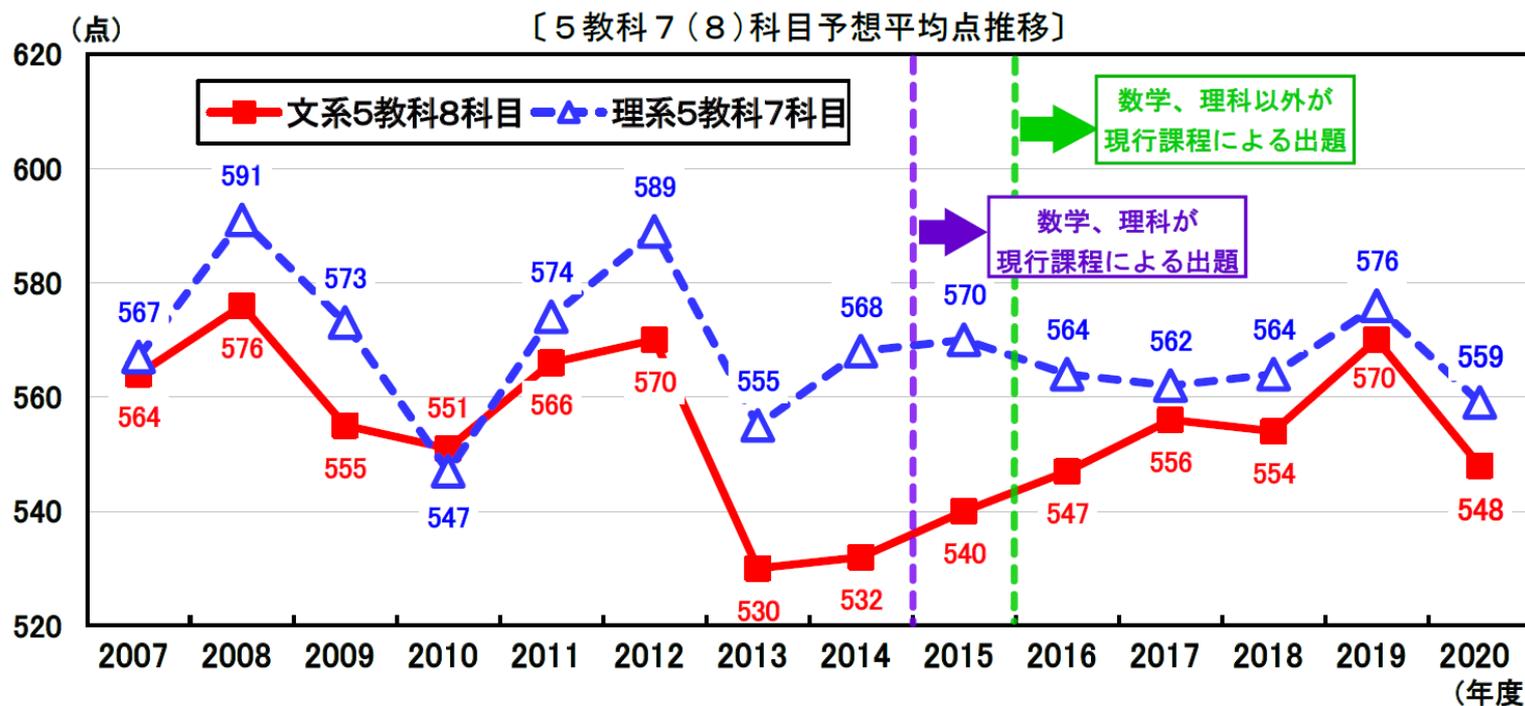
◆センター試験概況（最後のセンター試験）



- ・志願者数は2年連続減少
 - ・現役生も2年連続減少
 - ・既卒生等4年ぶり減少
- ※浪人や不本意入学生の再チャレンジが減った

①令和2年度大学入試概況

◆センター試験概況（最後のセンター試験）

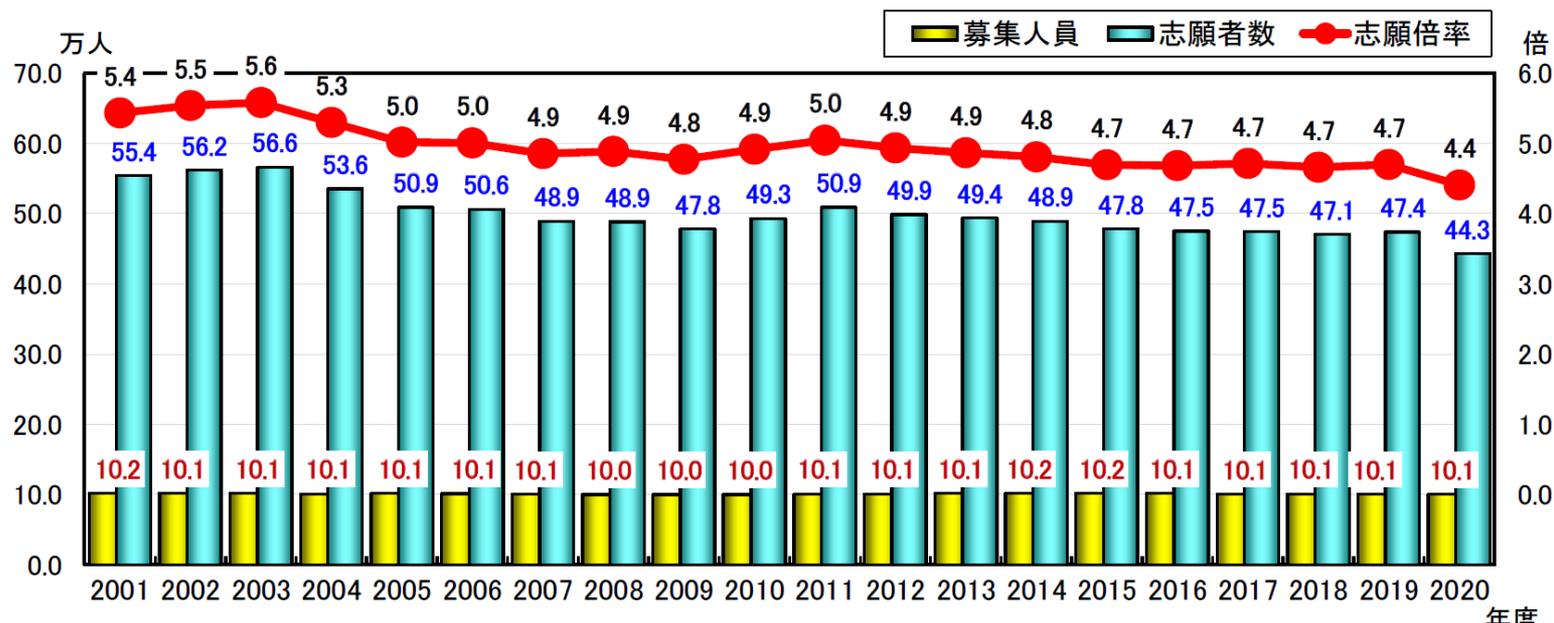


- ・5教科(900点満点)予想平均点: 文系22点理系17点ダウン
- ・数学I・Aがー7.8、英語(筆記)がー7.0と大幅ダウン

①令和2年度大学入試概況

◆国公立大志願状況

〔志願者数推移〕

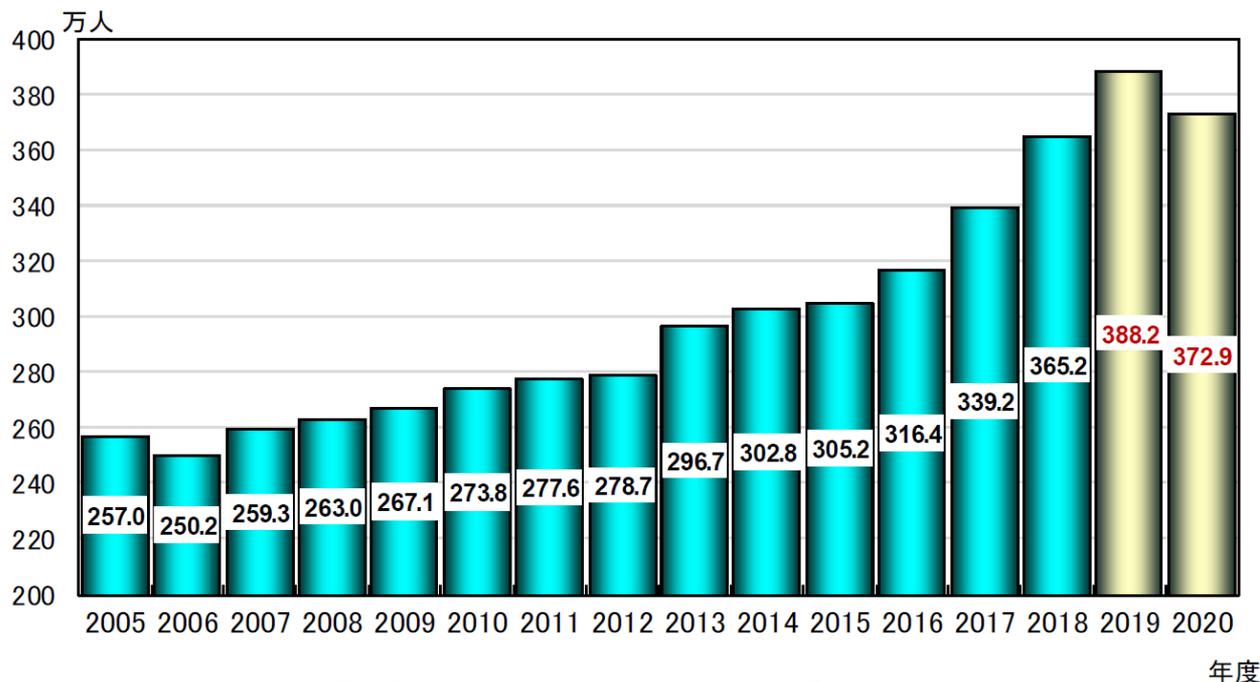


- ・国公立大全体の志願倍率 4.70倍→4.41倍
- ・国立大は9年連続減少。公立大は5年ぶりの減少。

①令和2年度大学入試概況

◆私立大志願状況

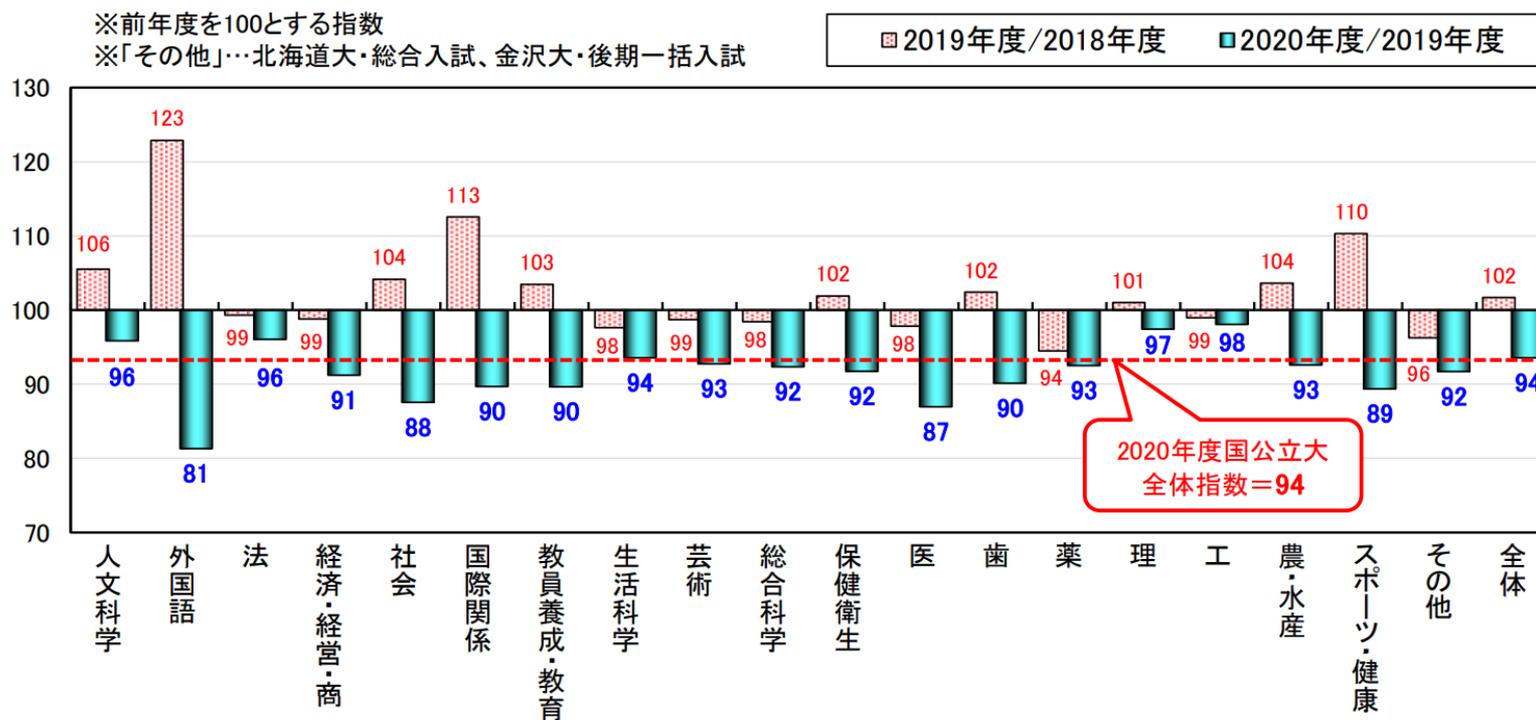
〔私立大一般選抜入試 志願者数推移〕



- ・のべ志願者数は14年ぶり減少
- ・センター利用方式も5年ぶり減少
- ・中堅私大への推薦・AOの利用増加

①令和2年度大学入試概況

◆国公立大系統別志願状況

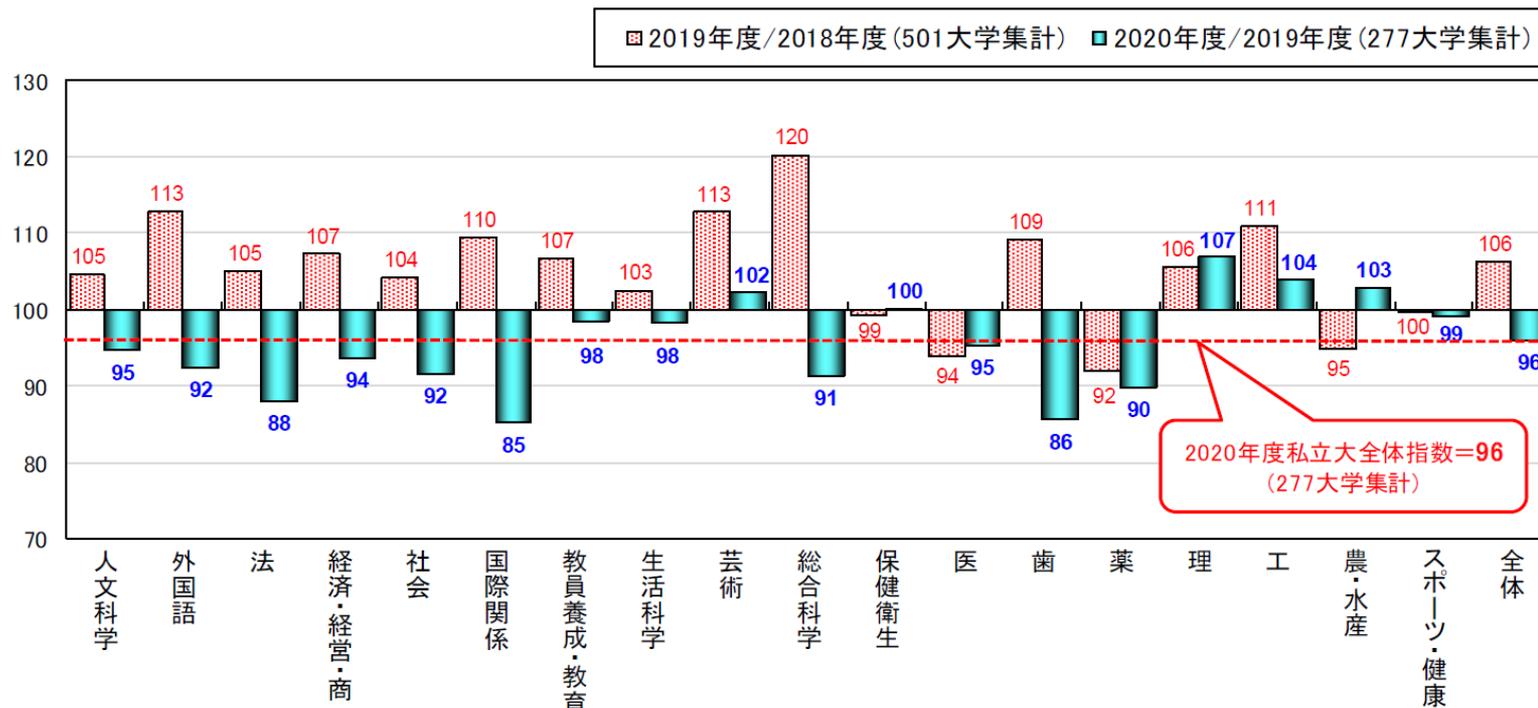


- 工学部は微減。他は軒並み減少。
- 「文高理低」の傾向は姿を消した

①令和2年度大学入試概況

◆私立大系統別志願状況

[私立大一般選抜入試 系統別志願状況]



※前年度を100とする指数

・傾向としては国公立と同様

①令和2年度大学入試概況

◆難関国立10大学

[確定志願者指数 文理別前年度対比指数]

大学	前期			後期			前期・後期 合計
	文系	理系	合計	文系	理系	合計	
北海道大	91	95	94	102	93	95	94
東北大	93	90	91	92	95	94	92
東京大	97	98	98				98
東京工業大		90	90		103	103	91
一橋大	93		93	96		96	94
名古屋大	85	97	93		82	82	93
京都大	98	98	98	68		68	96
大阪大	96	102	99				99
神戸大	97	91	94	81	100	93	94
九州大	102	94	96	101	94	96	96
難関大合計	95	95	95	91	96	94	95

- ・難関国立10大学の確定志願者数は10大学すべてが減少し、全体では3,666人(95)の減少で2年連続減少。
- ・難関私大も同様に志願者数減少傾向→安全志向

①令和2年度大学入試概況

◆本校の概況

- ・センター試験5教科(900点満点)平均点
文系620.5点(全国平均+72.5点)
理系623.5点(全国平均+64.5点)
- ・全国平均が下がった中でもしっかりと得点できた生徒が多かったと思われる。
- ・現役の国公立大学合格者は**143名**であった。前年度の121名を上回り、この5年間では最も多い合格数となった。

①令和2年度大学入試概況

◆本校の概況

- ・難関国立10大学合格者は**23名**で、昨年度13名から増加した。特に東北大学は13名が合格した。1年次より難関大を目指した生徒が、高い意識のまま合格を得たことは喜ばしいことであった。
- ・地方国公立大学に目を向けて合格を得た者も多かった。群馬大25名、新潟大11名、信州大8名、金沢大5名、静岡大4名など、自身のやりたいことや適性を考えて、受験校を決定した生徒も多かった。

①令和2年度大学入試概況

◆本校の概況

- ・最難関国立大について、今年度卒業生は東京大に6名、京都大に5名、東京工業大に2名が受験した。合格者は京都大2名のみであり、厳しい結果となりましたが、目標を高く設定して挑戦した生徒達はとても立派でした。
- ・既卒生が東京大に4名、京都大に1名、一橋大に1名合格した。前年度の悔しさをバネに、再度チャレンジして合格を得たことは嬉しい事であり、「第一志望を貫く」という姿勢は後輩にとっても勇気を与えるものであった。

①令和2年度大学入試概況

◆本校の概況

- ・主な私立大合格者については、早稲田大14名、慶応大6名、明治大27名、中央大32名などである。合格者の絞込みの影響もあったが、早慶の合格者が少なかったのは受験しない生徒が多かったためで、受験科目が少なく複数受験できる私立大には積極的に挑戦して欲しいと感じている。

①令和2年度大学入試概況

◆本校の概況

- ・推薦入試については、指定校推薦で13名(公立大2名、私大11名)が合格し、一般の公募推薦では25名が受験して12名(国立大9名、公立大1名、大学校2名)が合格した。またAO・AC入試では9名が出願し3名が合格した。
- ・近年推薦やAO入試などに出願するケースも多く、受験の機会を増やす上でも大切だと考えられます。ただ大学によって出願要件が異なります。注意が必要です。

②令和3年度大学入試について

新たな時代に必要となる資質・能力の育成

知識
技能

思考力
判断力
表現力

主体性
多様性
協働性

学力の3要素

大学入学共通テスト

記述式問題の導入
思考力・判断力・表現
力を測る問題の出題

英語の資格・検定試験

従来の「読む」「聞く」に
加え「書く」「話す」力も
測定
共通ID登録見送り

多面的・総合的評価入試

高校3年間の活動履歴
や資格等も評価対象に

②令和3年度大学入試について

大学入学共通テスト予測（英語）



「リーディング」と「リスニング」の均等配点の出題となる

- ✓ 学習指導要領に示す4技能のバランスの良い育成が求められていることを踏まえ、「リーディング」と「リスニング」の配点を均等とする



「リーディング」では文章読解の出題が中心となる

- ✓ 発音、アクセント、語句整序などを単独で問う問題は作成しないこととし、実際のコミュニケーションを想定した明確な目的や場面、状況の設定を重視する



「リスニング」では1回読みを導入し、問題数が増加

- ✓ 問題の数の充実を図ることによりテストの信頼性が更に向上することを目的として、1回読みを含める

②令和3年度大学入試について

共通テスト英語 一般選抜におけるRとLの配点(比率)

- センター試験は筆記200点・リスニング50点の配点に対し、
共通テストはリーディング(R)100点・リスニング(L)100点に変更
- 入試で得点をどう扱うかは各大学の判断

※4/9時点の公表内容
 ※一部学部でしか公表していない大学は除く
 ※大学入試英語成績提供システムの導入見送り前に公表

R100・L100 (1:1)	国立	北海道、小樽商科、旭川医科、弘前、東京学芸、お茶の水女子、一橋*、上越教育、名古屋工業、豊橋技術科学、広島、鳴門教育、福岡教育、九州工業、鹿屋体育 <small>*第1段階選抜のみ</small>
	公立	札幌医科、札幌市立、名寄市立、青森公立、秋田県立、山形県立米沢栄養、会津、群馬県立女子、高崎経済、長岡造形、長野、静岡文化芸術、三重県立看護、京都市立芸術、福知山公立、公立鳥取環境、福岡県立、大分県立看護科学、名桜
R200・L50 (4:1)	国立	福島、茨城、筑波、群馬、千葉、新潟、信州、愛知教育、京都教育、京都工芸繊維、神戸、奈良教育、奈良女子、鳥取、島根、岡山、山口、徳島、香川、長崎、熊本
	公立	釧路公立、公立はこだて未来、青森県立保健、宮城、国際教養、群馬県立県民健康科学、神奈川県立保健福祉、公立小松、名古屋市立、神戸市外国語、神戸市看護、広島市立、香川県立保健医療、高知工科
R150・L50 (3:1)	国立	北見工業、東北、宇都宮、東京医科歯科、電気通信、福井、岐阜、静岡、浜松医科、名古屋、京都、大阪
	公立	新潟県立、新潟県立看護、石川県立看護、大阪市立
R・Lの比率が 学部ごとに異なる あるいは 上記以外の比率	国立	帯広畜産、秋田、東京(7:3)、東京農工、山梨、三重、滋賀、愛媛、大分、鹿児島
	公立	福島県立医科、茨城県立医療、東京都立、横浜市立、都留文科、岐阜薬科、愛知県立芸術、京都府立、兵庫県立、下関市立、山口県立、宮崎公立、沖縄県立看護、沖縄県立芸術

②令和3年度大学入試について

新たな時代に必要となる資質・能力の育成

知識
技能

思考力
判断力
表現力

主体性
多様性
協働性

学力の3要素

大学入学共通テスト

記述式問題の導入
思考力・判断力・表現
力を測る問題の出題

英語の資格・検定試験

従来の「読む」「聞く」に
加え「書く」「話す」力も
測定
共通ID登録見送り

多面的・総合的評価入試

高校3年間の活動履歴
や資格等も評価対象に

②令和3年度大学入試について

◆英語外部試験検定について

- ・共通IDの登録は見送りになりましたが、大学入試自体で英語外部試験を活用しないということではない。対応は各大学によって異なる。
- ・例) 立教大学

2021年度一般入試 ここがPoint

本学独自の英語試験を廃止

「英語」科目は英語外部試験を全面的に導入。
大学入学共通テストの「英語」も利用可能。
※文学部のみ、本学独自の英語試験で受験できる試験日あり。

利用できる英語外部試験

ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定*、
GTEC*、IELTS、TEAP、TEAP CBT、TOEFL iBT
*CBTも可

Point 1

- 英語外部試験の最低スコアの設定なし。
スコアさえあれば出願可能。

Point 2

- 2年間で最も高得点のスコアを提出。
(試験実施月から2年以内のスコアが有効)
受験機会を増やすため、有効なスコアの期間を長く設定。

Point 3

- スコアに統計的処理を施し、点数化して合否判定するため、利用する試験によつての有利、不利はなし。
英語外部試験7種が利用できる。
何種類かスコアを持っている場合は、複数のスコアで出願可能。
※最も高得点に換算されるスコアを合否判定に採用。

②令和3年度大学入試について

新たな時代に必要となる資質・能力の育成



知識
技能

思考力
判断力
表現力

主体性
多様性
協働性

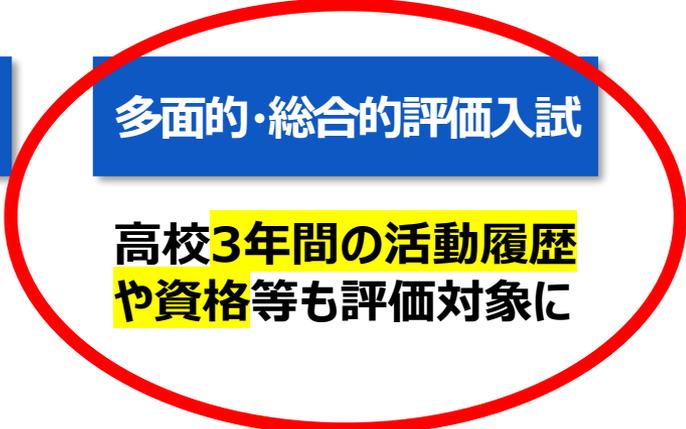
学力の3要素

大学入学共通テスト

記述式問題の導入
思考力・判断力・表現力を測る問題の出題

英語の資格・検定試験

従来の「読む」「聞く」に加え「書く」「話す」力も測定
共通ID登録見送り



多面的・総合的評価入試

高校3年間の活動履歴や資格等も評価対象に

②令和3年度大学入試について

令和3年度(2021年度)一般選抜入学試験における主体性等の評価について(予告)

令和元年7月17日

東 北 大 学

「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告」(平成29年7月13日公表、以下「予告」とする)において、「一般選抜の課題の改善」として「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」をより積極的に評価するために、調査書等の積極的な活用を促し、どのように活用するかを募集要項等に明記することが指示されました。

東北大学では、予告の公表を受けて検討した結果、「平成33年度入試における本学の基本方針について(予告)」(平成30年12月5日公表、以下、「東北大学の基本方針」とする)において、「調査書等の扱い(一般選抜)」に関する予告を行いました。具体的には、

- ① 志願票に調査書と対応した5項目程度のチェックリスト項目を設ける
- ② 合否ラインに並んだ場合、チェックリストによる主体性評価が高い志願者を優先的に合格とする
- ③ チェックリストの根拠を調査書により確認し、その他の資料は求めない
- ④ チェックリスト及びその評価方法等の詳細は改めて公表する

との方針を示しました。

このほど、「東北大学の基本方針」で言及していた「チェックリスト及びその評価方法等の詳細」について以下のように決めましたので、公表いたします。

東北大HPより。

②令和3年度大学入試について

1. チェックリスト

○ 志願票に以下の5項目のチェックリストを付し、志願者の自己申告とします。志願者は以下の各記述に関する自らの取組状況を振り返り、「該当する」と考えた場合には末尾の [□] にチェック [☑] を入れてください。

- | | |
|------------------------------|---|
| (A) 高校における学習活動に主体的に取り組んできた | ☑ |
| (B) 部活動・ボランティア活動に主体的に取り組んできた | ☑ |
| (C) 生徒会・学校行事等に主体的に取り組んできた | ☑ |
| (D) その他の活動に主体的に取り組んできた | ☑ |
| (E) 高校時代に取得した資格、獲得した賞がある | ☑ |

**合否ラインに並んだ場合、
チェックリストを活用**

3. 主体性評価チェックリストと調査書記載欄との対応関係

- (A) 高校における学習活動に主体的に取り組んできた：
「7. 指導上参考となる諸事項」(1) 学習における特徴等、(2) 行動の特徴、特技
- (B) 部活動・ボランティア活動に主体的に取り組んできた：
「7. 指導上参考となる諸事項」(3) 部活動、ボランティア活動等
- (C) 生徒会・学校行事等に主体的に取り組んできた： 「6. 特別活動の記録」
- (D) その他の活動に主体的に取り組んできた：
「7. 指導上参考となる諸事項」(6) その他
(「5. 総合的な学習の時間の内容・評価」「8. 備考」も根拠とする場合がある)
- (E) 高校時代に取得した資格、獲得した賞がある
「7. 指導上参考となる諸事項」(4) 取得資格、検定等、(5) 表彰・顕彰等の記録

**チェックリストの根拠を
調査書により確認**

②令和3年度大学入試について

◆主体性の評価

・例) 早稲田大学

**2021年度 一般選抜（現行の一般入試）および大学入学共通テスト
（現行の大学入試センター試験）を利用した入試の改革**

すでに現行の一般入試問題でも、単なる「知識」だけではなく、「思考力・判断力」および「表現力」を必要とする問題を出題しています。こうした出題についてさらに工夫を加えて、高校までの学習をより適切に評価できるように努めてまいります。

それに加え、Web 出願時に、「主体性」「多様性」「協働性」に関する経験を記入（注）してもらうこととします。

・ 高等学校入学に相当する年齢からこれまでに、学校内外にて「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」をもって活動・経験してきたと受験生本人が考えていることについて、100文字以上 500文字以内で記入してもらいます。

②令和3年度大学入試について

◆主体性の評価

・例) 早稲田大学(追加)

2021年度 指定校推薦入試における 「大学入学共通テスト」の受験必須化について

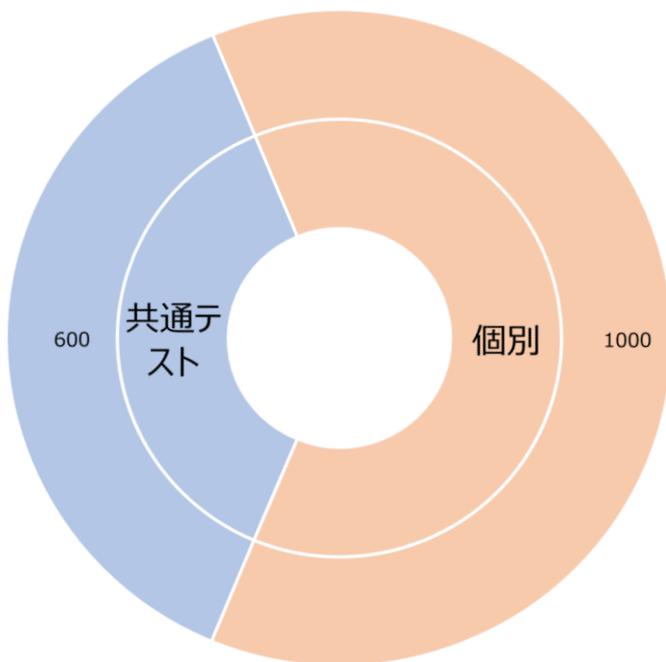
本学の指定校推薦入試では、本学で学びたいという高い勉学意欲と知的好奇心、および入学時点で最低限必要となる水準の知識・技能の有無を確認してまいります。

この方針に基づき、2021年度入学者を対象とした指定校推薦入試より、「大学入学共通テスト」のうち英語、国語、数学（I・A）の受験を必須とします。

②令和3年度大学入試について

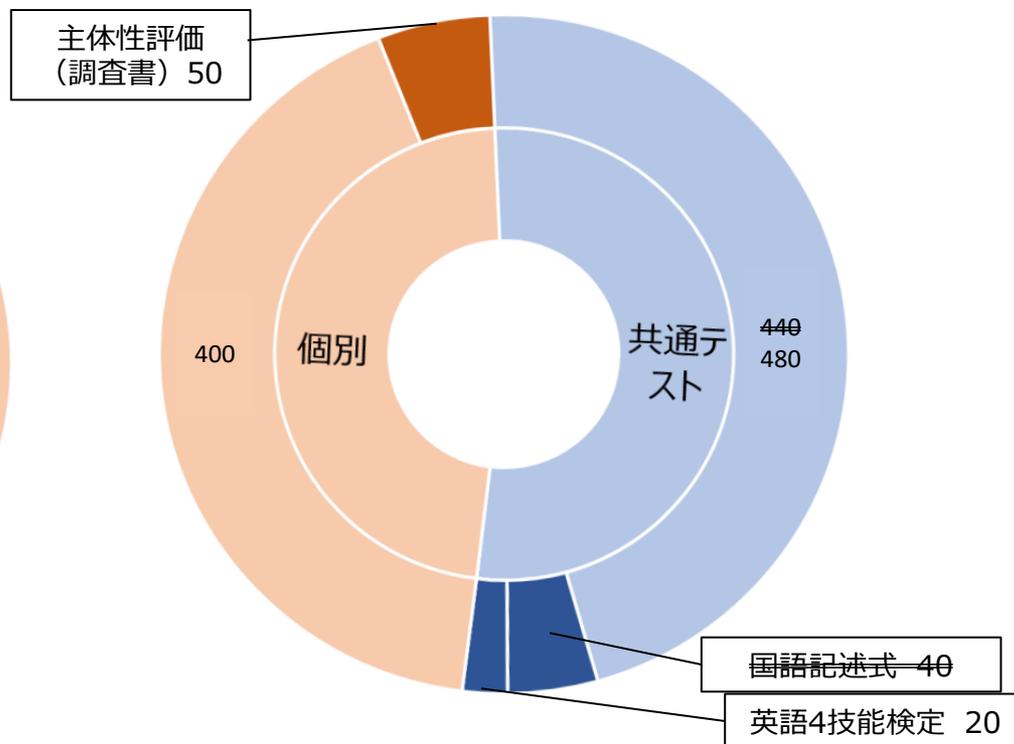
◆主体性の評価

影響が小 東北大・文（人文）<前>



- 個別試験の配点が高い
- 主体性評価は合否ライン上の生徒にのみ活用

影響が大 信州大・人文（人文）<前>



- 共通テストと英語検定の配点が500点
- 主体性評価は個別試験全体の約11%の配点

※2021年度入試以降の配点は未公表のため、現行入試の配点をもとに作成

③まとめ

◆今後の予定

- ・登校が始まりましたら、まずは全学年二者面談を実施いたします。進路のことに限らず、生活のこと、学習のことなど一緒に考えたいと思っています。
- ・夏休み中に全学年三者面談を実施いたします。保護者の皆さまと生徒、担任とで様々な話題について相談させていただきたいと考えています。

③まとめ

◆難関大をめざそう

- ・3年生は第一志望届を提出していただきました。太高生らしく多くの生徒が難関大をめざしてくれて頼もしく感じました。
- ・全国的には今年度も「安全志向」と「弱気の出願」、「再受験生の減少」が続くと思われます。難関大合格のチャンスです。

③まとめ

◆難関大をめざそう

- ・第一志望だけでなくいくつかの志望大学について調べましょう。受験の形態、英語外部試験の利用の有無、試験科目と配点、主体性の評価等を確認する必要があります。募集要項は各大学6月から7月を目安に発表されます。1、2年生のうちから調べておくことは大切です。
- ・焦らず、慌てず、やるべきこと、できることを、ひとつひとつ丁寧に行い、学習と努力を積み上げていくことが合格への近道です。

③まとめ

◆保護者の皆さまへ

- 受験に100%の正解はない
- …『ある種の開き直り』と『保護者の覚悟』

※最近特に感じます。

保護者が覚悟を決めると無敵です！

(私見)

- (結果でなく)努力をほめる
- …これができるのは保護者だけです

③まとめ

◆保護者の皆さまへ

大学入試は
ご子息が大人になる
最良の機会とタイミング

☆見守り

☆信頼

☆適度なアドバイス

③まとめ

◆保護者の皆さまへ

- ・今回の休校で、生徒や保護者の皆さまも学習の遅れや受験について心配や不安を感じていると思います。我々もこのまま例年通りの受験ができるか心配しています。それでも下を向かず前を向いて、保護者の皆さまと生徒、職員で協力してこの非常事態を乗り切っていきたいと考えています。

③まとめ

◆保護者の皆さまへ

- ・今後長期休業の縮小や休日の課外授業等の実施。オンラインによる動画での授業や課題の提示、回収など、考えられる様々な学習支援をおこなっていきたいと考えています。是非ご協力をお願いいたします。
- ・学校から様々な形でご連絡もさせていただきます。ご覧いただきご子息と一緒にご確認ください。
(一斉メール、本校のHP、classi他)

③まとめ

最後に

- 弱気にならない、最後まであきらめない受験生が、合格をつかむ！
- 出願なくして受験なく、受験なくして合格なし
- 受験は団体(チーム)戦
- 生徒、家族、教員の「チーム太高」で合格を勝ち取る！

③まとめ

夢は大きく 志は高く！

保護者の皆さんも
「チーム太高」の一員です。
「太田魂」、「太高プライド」をもって
共に最後まで頑張り抜きましょう。

ご視聴ありがとうございました

